

平成27年8月21日
奈良県
西日本旅客鉄道株式会社
近畿日本鉄道株式会社
奈良交通株式会社

「 なら記紀・万葉 なら大和路探訪キャンペーン2015」を実施します。

奈良県、西日本旅客鉄道株式会社（以下「JR西日本」）、近畿日本鉄道株式会社（以下「近鉄」）、奈良交通株式会社（以下「奈良交通」）は共同で、奈良大和路への旅客誘致の一環として、天理市・桜井市の「山の辺の道」を舞台に、10月1日（木）から12月27日（日）までの約3カ月間『なら記紀・万葉』なら大和路探訪キャンペーン2015」を実施します。

※『なら記紀・万葉』なら大和路探訪キャンペーンとは・・・
古事記完成1300年の記念年である平成24年（2012年）から、日本書紀完成1300年の平成32年（2020年）までを実施期間として奈良県が推進する、古事記・日本書紀・万葉集に代表される歴史素材を活用した「記紀・万葉プロジェクト」に、JR西日本・近鉄・奈良交通が参画し、平成24年から毎年4者で共同実施しているキャンペーンです。

このキャンペーンをお楽しみいただくために、以下のイベントを実施する予定です。

1. リアル宝探し「古代の秘法アドベンチャー ～隠された王家の秘宝～」
2. アウトドア雑誌『ランドネ』とのタイアップイベント

この機会に、お一人でも多くの方に日本最古の道といわれる山の辺の道を巡っていただき、『なら記紀・万葉』に親しんでいただければと考えています。
詳細は別紙のとおりです。



山の辺の道（天理市）



山の辺の道（桜井市）



いそのかみ
石上神宮（天理市）



おおみわ
大神神社（桜井市）

別紙

『なら記紀・万葉』なら大和路探訪キャンペーン2015

1. 主催 奈良県、西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社
2. 実施協力 天理市、桜井市
3. 開催期間 平成27年10月1日（木）から平成27年12月27日（日）まで
4. 主なイベント内容 (1) リアル宝探し「古代の秘宝アドベンチャー ～隠された王家の秘宝～」

- ①内 容 観光案内所等に置いてある参加冊子（宝の地図）を入手し、そこに書かれている謎を解きながら、山の辺の道周辺（天理市・桜井市）に隠されている宝箱を探し出します。宝箱に記載された「キーワード」を参加冊子に記入し、エリア内に設けられている発見報告所にて報告を行います。見つけ出した宝箱の場所と数により抽選賞品が異なります。
- ②開催地域 天理市・桜井市
- ③開催期間 平成27年10月1日（木）から平成12月27日（日）まで
- ④参加冊子
配布箇所
- ・JR奈良駅
 - ・近鉄奈良駅
 - ・近鉄奈良駅総合観光案内所
 - ・奈良市総合観光案内所
 - ・天理市トレイルセンター
 - ・桜井観光案内所
- ※ホームページからダウンロードすることもできます
「タカラッシュ 奈良」で検索（9月上旬開設予定）
- ⑤その他 参加冊子ビジュアル（イメージ）



(2) アウトドア雑誌『ランドネ』によるイベント“ランドネ山大学”開催

- ①内 容 えい出版社発行のアウトドア雑誌『ランドネ』によるイベント“ランドネ山大学”を、天理市・桜井市を中心とした山の辺の道で開催。ランドネ編集部と行くハイキングを行い、後日、雑誌誌面でイベントレポートも掲載します。
- ②日 程 イベント告知（10月号・8月22日発売）
イベント実施（9月26日予定）
レポート掲載（12月号・10月23日発売）

5. その他の取組み

本キャンペーンに関連する旅行商品を購入されたお客様を対象に、「食」を切り口に、周辺の記紀・万葉ゆかりの地の魅力を併せて紹介する、なら大和路グルメ探訪ブック「奈良うまっ 山の辺の道篇」を進呈します。掲載店舗でご提示いただくとお土産等がもらえる、おもてなし特典付きです。

(1) 冊子の概要

①掲載店舗数：16店舗

②仕様：A4フルカラー 12ページ

(2) 実施期間：平成27年10月1日（木）から平成27年12月27日（日）まで

(3) 対象となるお客様

本キャンペーンに関連する旅行商品を購入されたお客様。

対象となる旅行商品購入時にガイドブック引換券をお渡しし、指定の引換箇所ガイドブックをお受取りいただきます。

(4) 対象旅行商品取扱旅行会社（予定）

株式会社JTB国内旅行企画、近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社、株式会社日本旅行、東武トップツアー株式会社

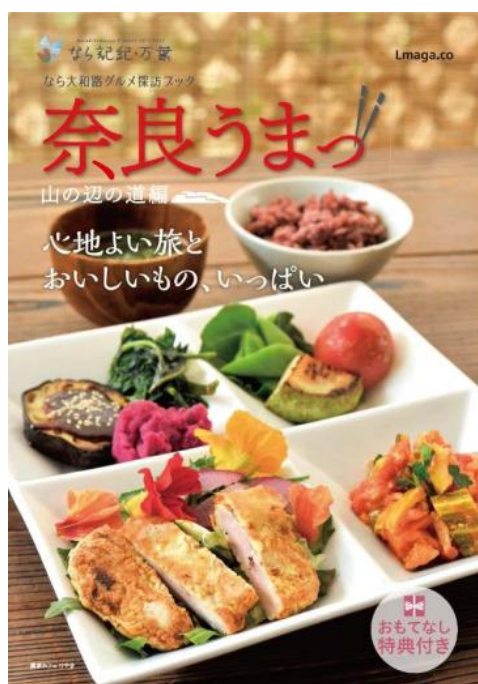
(5) 引換箇所

- ・天理市：天理市トレイルセンター（8時30分から17時まで）
- ・桜井市：桜井観光案内所（8時30分から17時まで）
- ・近鉄：近鉄奈良駅の駅長室（9時から19時まで）
- ・JR西日本：JR奈良駅の改札及びみどりの窓口（始発から終電まで）

(6) その他

ガイドブックイメージ

編集協力：京阪神エルマガジン社



以上